学校番号	104

平成 30 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	コミュニケーション英語Ⅱ	2	第 3 学年	All Aboard! Communication English Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生のコミュニケーション英語の授業を続きです。訳読はおこなわず、本文の流れの理解は図（パラグラフチャート）を使って行います。また重要文の書き取りやリスニングなども行います。プリント中心の授業です。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第 3 学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（2 単位）及び「英語表現Ⅰ」（2 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使い、複数の文で描写することができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート 英問英答 英語表現Ⅰ ワークシート 英問英答	簡単な語や基礎的な表現を用いて、バースデーカードなど、メッセージカードを書くことができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート テスト 定期考査 英語表現Ⅰ ワークシート テスト 定期考査	趣味やクラブ活動など身近なトピックについての短い話をゆっくりはっきりと話されれば、概要を理解することができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート テスト 定期考査 英語表現Ⅰ ワークシート テスト 定期考査	日常生活で使われる簡単で短い文章の概要を理解することができる。	コミュ英Ⅱ ワークシート テスト 定期考査 英語表現Ⅰ ワークシート テスト 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	日本語で受け答えができるかを行う。その後英語で答えることができるようにし、最終的に英問英答を行う。	身近な題材を与えられた言葉を使って文章を書けるかどうかを小テスト形式で行う。 最終的には自らメッセージカードを書けるようにする。	相手の言ったセリフなどを理解できるように、教科書の文章、映画のワンシーンや洋楽を使って問題演習や小テストを行う。	教科書の題材を通して異国の文化や習慣などを伝えるだけでなく、それに関連した動画や写真などを使って視覚的に伝える。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (9時間)	登場人物のさおりがイギリス旅行を通じて、外国への興味や自分の住んでいる土地について考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		旅行を通じて登場人物であるさおりの人生観の変化を考える。	部分ごとに重要な語句を探し、それらの意味を考える。	コッツウォルズ地方やハリーポッターについて話している。	・ペアワークの観察
		「外国語表現の能力」			
		メール内容ごとにチャートでまとめ本文の要約をする。	重要な語句を使って要点をまとめる。内容を生徒自身がまとめる。	コッツウォルズ地方の建築物などを説明している。	・ワークシート ・発表
		「外国語理解の能力」			
		本文の要約を理解し、それについて自分自身の意見を言えるようにする。	ペアやグループで自分自身の意見をお互いに言い合う。	イギリス文化について本文を理解し、自分自身の意見を言えている。	・ペアワークの観察 ・小テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		イギリス旅行を通じて感動したことについて学ぶ。	enjoy oneself などの重要語句や関係副詞 where の確認を行う。	自分の意見を言う中で重要な語句や表現を入れる。	・小テスト ・定期テスト
Lesson 10 (9時間)	伝統文化の文楽を通じて留学生が感じた自国の文化を考える。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		留学生のリンダによるスピーチを通して自国の文化を別の視点から考える。	部分ごとに重要な語句を探し、それらの意味を考える。	馴染みの少ない伝統芸能について話している。	・ペアワークの観察
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフことでまとめ、本文の要約をする。	重要な語句を使って要点をまとめる。内容を生徒自身がまとめる。	文楽について教科書の英語表現を使って話す。	・ワークシート ・発表
		「外国語理解の能力」			
		本文の要約を理解し、それについて自分自身の意見を言えるようにする。	ペアやグループで自分自身の意見をお互いに言い合う。	日本の伝統について英語表現を理解する。	・ペアワークの観察 ・小テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		文楽について学び、何を感じたかを話し合う。	become aware of などの重要語句や知覚動詞の確認を行う。	知覚動詞を理解し、活用できるようにする。	・小テスト ・定期テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 11 (9時間)	チョコレートの原材料であるカカオと西アフリカにおける児童労働に関する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		チョコレートの原材料であるカカオとそれに伴う児童労働について考える。	部分ごとに重要な語句を探し、それらの意味を考える。	身近なチョコレートから児童労働やフェアトレードなどについて話す。	・ペアワークの観察 ・グループワークの観察
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフごとでまとめ、本文の要約をする。	重要な語句を使って要点をまとめる。内容を生徒自身がまとめる。使役動詞を活用する。	チョコレートに関する苦い現実を話す。	・ワークシート ・発表
		「外国語理解の能力」			
		本文の要約を理解し、それについて自分自身の意見を言えるようにする。	ペアやグループで自分自身の意見をお互いに言い合う。	西アフリカの児童労働について理解する。	・ペアワークの観察 ・小テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		身近なチョコレートと児童労働をつうじて何を感じたかを話し合う。	allow…to～などの重要語句や使役動詞の確認を行う。	使役動詞を理解し、活用できるようにする。	・小テスト ・定期テスト
Lesson 12 (9時間)	苦境を乗り越えて小惑星のサンプルリターンを成功させたはやぶさを題材にした日本人技術者の誇りとあきらめない心の大切さを学ばせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		小惑星探査機はやぶさを通じて日本人技術者の誇りについて話し合う。	パートごとに重要な語句をペアで探し、それらを覚える。	宇宙開発について知っていることを話す。	・ペアワークの観察
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフごとにチャートでまとめ本文の要約をする。	重要な語句を使って要約する。	宇宙開発やはやぶさについて英語で話す。	・ワークシート
		「外国語理解の能力」			
		本文の要約を理解し、それについて自分自身の意見を言えるようにする。	ペアやグループで自分自身の意見をお互いに言い合う。	はやぶさを通じて日本人の誇りやあきらめない心の大切さを教科書の英語を通じて理解する。	・ペアワークの観察
		「言語や文化についての知識・理解」			
		はやぶさに搭載された日本人技術者の技術のすごさについて学ぶ。	land…on～や分詞構文の確認を行う。	自分の意見を言う中で重要な語句や表現を入れる。	・小テスト ・定期テスト

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Reading 2 (12 時間)	『読書介助犬オリビア』をもとにした作品。サンディーがオリビアと出会い思いついたプログラムによって、やんちゃなショーンがどのように変化していくのかを読み取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		本文の内容から次の展開を予測し、ペアで話し合うことができる。	部分ごとに重要な語句を探し、それらの意味を考える。 本文の展開を予測する。	ペアになり、積極的に自分の予測を相手に伝えることができている。 英問に英語で答えようとしている。	・ペアワークの観察
		「外国語表現の能力」			
		パラグラフごとでまとめ、本文の要約をする。	重要な語句を使って要点をまとめる。内容を生徒自身がまとめる。	指導者からの本文についての英問に対し、ペアで協力しながら文単位で答えることができる。	・ワークシート ・インタビューテスト
		「外国語理解の能力」			
		本文の要旨を理解し、それについて自分自身の意見を言えるようにする。	ペアやグループで自分自身の意見をお互いに言い合う。	本文からショーンの変化を読み取り、それを言語化できている。	・ワークシート ・ペアワークの観察 ・小テスト
		「言語や文化についての知識・理解」			
		アニマルセラピーの種類や効果について学ぶ。	難しい語彙や表現があっても、本文の流れから推測をしてから意味を確認する。	本文要約の際に重要語彙を正しく活用することができている。	・ワークシート ・小テスト ・定期テスト